第３学年　国語科　学習指導案

解決したい授業力の課題

【教材と向き合い，子どもが学ぶ意義をとらえる】ことが課題である。物語文では中心人物の心情理解について，子どもたち個々の感性に任せてしまい曖昧にしてしまうことも多い。

そこで，中心人物が変容していくことになった出来事や変化していく様子を把握させるために場面の順序や内容ともに正しく読むことを身に付けさせたい。そのために，出来事や様子から中心人物の心情を想像して因果関係をとらえさせる学習活動を行う。そうすることで，想像を広げて考えるときにも根拠のない空想で話の内容を変えて読んでしまうことを防ぐことができると考える。また，物語文は長い時間をかけても意欲が低下し学習したことが身に付いていないこともある。学習したことを他の教材でいかす時間を設けて読みの力も高めさせたい。

１　単元名

人物の気持ちを考えながら読もう　　題材名　　「サーカスのライオン」

２　単元の目標

・中心人物の気持ちや行動が変化していく様子について，場面での出来事や人物の行動に着目して因果関係を読みとる力を付けることができる。【C(1)ｳ】

３　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・場面相互の関係を考えて，文章を読もうとしている。	・人物の気持ちが，どのように変化したかを読み取っている。【C(1)ｳ】	・言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。【(1)ｲ（ｱ)】

４　単元と指導の構想

(1)　単元と児童

６月に学習した，物語文「ゆうすげ村の小さな旅館」では，多くの児童が文中に表されているしかけに気付くことができた。また，時・登場人物などの物語の設定や出来事についてもおおよそを把握することができた。

本単元では，学習への興味を持続させながら，物語の順序や内容を正しくおさえ，中心人物が変容していく出来事やきっかけ，また変容していく様子を読み取らせたい。本題材は，中心人物となるライオン「じんざ」が男の子との交流によって，変化していくという話である。その交流を通して，じんざが変容していく様子が分かりやすく描かれている。また，児童は場面によって，じんざ，男の子，ライオンつかいのおじさん，お客さんのそれぞれの気持ちや立場に同化しながら読み進めることができると考える。

(2)　指導の構想

本単元では本文を正しく読ませて，中心人物の変容とそのきっかけとなる出来事や行動についての関係をとらえさせたい。また，じんざと男の子の関係を中心にして読み進めていく。

①　単元（1 次）を通しての学習課題の設定

中心人物の変容を把握させるために場面を丁寧に読ませたい。そこで，単元を通して「どのようにして男の子が大事な存在になっていったのか」という一つの学習課題を設ける。その課題を解決するために順を追って場面ごとに中心人物の様子や行動を抜き出し，大事な存在になっていったことを把握させたい。また，気持ちを直接的に表した叙述と，そのときの人物の気持ちが表れた行動や会話があるが，ここでは主として行動や会話について取り上げる。

② 中心人物の心情を考える活動

人物の気持ちが表れた行動や会話叙述を読みとった上で，そのときの中心人物の心情について想像し，中心人物の立場にたって想像した気持ちを短く書かせる。これらの学習活動を通して，じんさの行動に表れた男の子への思いを，子どもたち自身が共感しながら想像し，読むことができると考えるからである。

③ じんざから男の子へ手紙を書く活動

本題材では，単元の最後に中心人物から男の子へ手紙を書く活動を取り入れる。手紙の内容には，男の子への感謝の気持ちや，いたわる表現を期待したい。手紙の内容も，児童が中心人物の変容を読み取ることができたかという判断材料としたい。

④ 実践できる学習活動の設定

学習したことを身に付けるために他の作品で実践する時間を設定する。ここでは「モチモチの木」を取り上げる。中心人物の変容について，そのきっかけとなる出来事や行動から心情を想像し，中心人物が変容していく様子をとらえさせたい。

５ 単元の指導計画 （全９時間）

次	時	○ 学習のねらい ・ 主な活動内容	評価			
			関	読	言	評価規準
1次	1	○設定を正しくとらえる。 ・全文を読み，話の概要をつかむ。 ・分からない言葉の意味を調べる。 ・登場人物をおさえ，場面分けをする。	○			【関】興味をもって人物の気持ちを考えながら読もうとしている。
	2	○学習課題「どのようにして男の子が大事な存在になっていったのか」について考える。 ・１場面を読み，サーカスにいるじんざの気持ちを想像する。 ・じんざの様子やサーカスでの様子を表している文や言葉に線を引いてワークシートに書き出し，じんざの気持ちを想像して書く。 ・じんざの見ている夢と，現在の境遇を比べる。		○	○	【読】中心人物の様子や行動が表れている文を探し，サーカスの中で過ごしているじんざの気持ちを想像している。 【言】言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 （ワークシート・発表）
	3	・２場面を読み，男の子と出会ったじんざの気持ちを想像する。 ・じんざの気持ちや様子が分かる文や言葉を書き出し，そのどきのじんざの気持ちを想像して書く。 ・男の子からの言葉に対するじんざの反応を整理する。 ・１場面と２場面のじんざの違いを比べる。		○		【読】中心人物の様子や行動が表れている文を探し，男の子と出会った気持ちの変化を想像している。 （ワークシート・発表）
	4 本時	・３場面を読み，男の子と会っているときのじんざの気持ちを想像する。 ・じんざの気持ちや様子が分かる文や言葉を書き出し，そのときのじんざの気持ちを想像して書く。 ・これまでのじんざと３場面のじんざを比べる。		○		【読】中心人物の様子や行動が表れている文を探し，男の子との交流を通しての気持ちの高まりを想像している。(ワークシート・発表)
	5	・４場面を読み，じんざの行動から気持ちを想像する。 ・火事が起きたときにじんざのとった行動を書き出し，そのときのじんざの気持ちを想		○		【読】中心人物の様子や行動が表れている文を探し，火事に立ち向かうじんざの気持ちを想像している。

		像する。 ・金色に光るライオンになったじんざの気持ちを想像する。				（ワークシート・発表）
	6	・１～４場面のじんざの気持ちをふり返る。 ・５場面を読み，じんざがいないサーカスの様子を読み取らせ，お客さんやおじさんの気持ちを想像する。 ・じんざの立場にたって，男の子に手紙を書いて交流する。		○		【読】今まで読み取ったことをもとに，じんざの気持ちの変化について考えている。（ワークシート） 【読】書いた手紙を発表し合い，感想をもつことができる。(ワークシート・発表)
2 次	7 8 9	○「モチモチの木」を読んで，中心人物の心や言葉，行動が変化する様子をとらえる。 ・全文を読み，話の概要をつかむ。 ・中心人物の行動や様子を表す表現を抜き出し，気持ちを想像する。 ・中心人物がとった行動や様子，想像した気持ちから，変容していく様子を理解する。		○		【読】中心人物の行動の変化を，叙述をもとにして想像しながら読み取っている。（ノート）

６　本時の学習　（本時４時間目／全９時間）

(1)　本時のねらい

じんざと男の子の関係を読み取ることについて，男の子のじんざに対する言動を本文から選ぶことを通して，じんざの気持ちを想像したり変容に気付いたりすることができる。

(2)　本時の構想

前時までに，「じんざは男の子を大切に思っていた」ということをおさえている。本時で学習する３場面は，さまざまな出来事が積み重なって，じんざが男の子を大切に思う気持ちが高まっていく場面である。

本時では，「どのようにして男の子が大事な存在になっていったのか」という課題に対する根拠を本文から探す。ここでの根拠は「男の子がじんざにしたことや言ったこと」である。それを受けて，じんざがとった行動についての心情を自分なりに想像させる。心情を想像させるときには，広がりすぎた空想になる場合があるので注意していく。また，選んだすべての言葉や文について想像ができない場合もある。そこで，線を引いた文すべてについて書かなくでもよいこととし，友達の発表の中から自分の考えに近かったり，なるほどと納得できたことを取り入れて書くことにして，できなかったという気持ちをできるだけ感じさせないようにしたい。また，発表するときは意見を収束させずに，それぞれの意見を共感し合うように進めていきたい。

(3)　本時の展開と評価

学習内容・活動	主な教師の働きかけと児童・生徒の反応	■評価　○留意点
［導入］ 課題を確認する ５分	T:前の時間は，じんざと男の子が出会った場面を学習しました。今日は，男の子がライオンのおりを訪ねてくる場面を学習します。 C:３場面を音読する。	○本時の場面をノートに書く。
［展開］ じんざの行動や言葉を探す 30分	どのようにして，男の子が大事な存在になっていったのか どこからそれが分かるでしょう。男の子がじんざにしたことに線を引きましょう。そのときのじんざの気持ちを想像しましょう。	○男の子がじんざにしたことについて線を引く。 ○なぜそこに線を引いたの

	C:①男の子がやってきたというところに線を引きました。 じんざは，男の子に心配させないように足をそっとかくしたのだと思います。 ②ぼくと半分こだよに線を引きました。 好きじゃないチョコレートをもらったのは，分けてくれたことが嬉しかったからだと思います。 ③男の子は毎日やってきたに線を引きました。 じんざは，男の子をがっかりさせたくなかったから起きていたんだと思います。 ③同じところに線を引きました。私は，男の子が来るのが楽しみでねむれなかったのだと思います。 ④やってくるたびにチョコレートをもってきたお母さんのことを話して聞かせたに線を引きました。 じんざも男の子もひとりだから，聞いたのだと思います。 ⑤火の輪をくぐるのを見に来るよに線を引きました。 優しくしてくれた男の子がサーカスを見に来てくれるなんてすごく嬉しいと思います。 T:このようにして，男の子が大事な存在になっていったのですね。	かじんざの気持ちを想像して書くことができる場合は本文に書き込む。 ○補助的な質問を入れながら進める。 ○友達の発表を聞いて書き足してもよい。 ○考えが停滞した場合は，小グループで話し合う。 ○男の子に会う前のじんざと比較する。 眠ってばかりー眠らないで火の輪２～３個－５個
［終末］ 学習の振り返りをする。 10分	T:今日学習して，考えたこと，思ったことを書きましょう。 C:じんざは，男の子が毎日来てくれて嬉しかったのだと思います。サーカスにもきてくれることになってすごく嬉しかったと思います。だからじんざは変わったのだと思います。 C:じんざは，男の子が優しくしてくれたり言葉をかけてくれたりしたのですごく嬉しかったのだと思います。だから明日，男の子がサーカスに来るのを知っては火の輪を５つにしようと思ったのだと思います。 C:じんざは嫌いなチョコレートをもらったけど，私だったらもらわなかったかもしれません。じんざは優しいなと思いました。 C:眠らないで男の子をまっていたのは，前のじんざと全然違います。	○３～５行程度。 ■じんざの様子や行動が表れている文を探し，男の子との交流を通しての気持ちの高まりを想像している。【読】 （ワークシート・発表）

7　本時の評価

（評価方法）発表の様子とワークシート

（目指す子どもの姿）じんざの気持ちが男の子の言動によって変化していったことが分かる。

Ａ：男の子のじんざに対する言動に線を引き，じんざの気持ちを想像して書いたり発表したりすることができる。（ノート・発表）

Ｂ：じんざの様子や気持ちが表れている言葉に線を引くことができる。